

評価項目算定資料準備及び提出について（留意事項・記載例）

総合評価落札方式では評価項目算定資料を提出していただきますが、提出にあたっては次の点にご注意ください。

- 1 評価項目算定資料は、評価項目順（評価項目算定資料一覧表に記載されている項目順）に並び、次のとおり提出してください。

施工能力評価方式

- ・ 入札参加者は、公告に記載の評価項目算定資料の提出日時に、次の該当する資料を封筒に入れ、ふたを糊付けし閉じて提出してください。（押印等の封緘は不要）
- ・ 各資料作成にあたっての基準日は「公告に記載の評価項目算定資料の提出日」とします。

ア 評価項目算定資料の提出について

〔提出様式〕

様式1号「評価項目算定資料の提出について」

イ 評価項目算定資料一覧表

〔提出様式〕

様式1 - 1号「評価項目算定資料一覧表」

「提出書類の枚数（応札者）」の欄には、ウ～コの評価項目で提出する様式と添付書類の合計枚数を記入してください。

ウ 同種工事施工実績

〔提出様式〕

様式1 - 2号「同種工事施工実績評価資料」

〔添付書類〕

- ・ 評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの
- ・ 竣工時工事カルテ等の写し

エ 優良工事表彰状況

〔添付書類〕

栃木県知事・栃木県所長等、関東地方整備局長・関東地方整備局所長等の優良工事表彰又は優秀賞の写し及びその工種がわかる竣工時工事カルテ等の写し

1, 2

オ 若手・女性技術者評価

〔提出様式〕

様式1 - 3号「若手・女性技術者評価資料」

〔添付書類〕

- ・ 配置予定の「監理技術者」、「主任技術者」又は「現場代理人」が若手技術者に該当する場合は、国家資格等の写し又は実務経験経歴書

カ 週休2日制工事施工実績

〔提出様式〕

様式1 - 4号「週休2日制（4週8休以上）工事实績証明書」

キ 建設キャリアアップシステム導入

添付書類は不要です。

ク 配置予定技術者の同種工事施工実績、配置予定技術者が有する国家資格等、継続教育学習制度への取組み状況

〔提出様式〕

様式1 - 5号「配置予定技術者評価資料」

- 〔添付書類〕
- ・評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの 3
 - ・竣工時工事カルテ等の写し 3
 - ・国家資格等の写し
 - ・継続教育学習制度の証明の写し
- ケ 建設業労働災害防止協会加入状況**
- 〔添付書類〕
- 建設業労働災害防止協会加入証明書の写し 2
- コ ISO等取得状況**
- 〔添付書類〕
- ・ISOの登録書の写し 2
 - ・事業所版環境ISOの写し 2
- サ 宇都宮版CSR認証取得状況**
- 添付書類は不要です。
- シ 消防団活動への協力**
- 添付書類は不要です。
- ス BCP認定**
- 添付書類は不要です。
- セ 災害時協力協定締結状況**
- 〔添付書類〕
- ・宇都宮市又は栃木県との協定書の写し 2
- (団体で締結している場合は協力者名簿等の写しも添付してください。)
- ソ 市内業者の施工割合**
- 〔提出様式〕
- 様式1 - 6号「宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合に係る誓約書」
- タ 施工計画**
- 〔提出様式〕
- 様式1 - 7号「施工計画」

実績評価方式

- ・開札後、落札第1順位者は、市から連絡があつてから指定期日までに、次の該当する資料を提出してください。(封筒に入れる必要はありません。)
- ・評価項目算定資料一覧表は、入札書・工事費内訳書送付時に提出済みですので、評価項目算定資料提出時に提出する必要はありません。
- ・各資料作成にあたっての基準日は「開札日」とします。

ア 評価項目算定資料の提出について

〔提出様式〕

様式1号「評価項目算定資料の提出について」

イ 同種工事施工実績

〔提出様式〕

様式1 - 2号「同種工事施工実績評価資料」

〔添付書類〕

・評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの

・竣工時工事カルテ等の写し

ウ 優良工事表彰状況

〔添付書類〕

栃木県知事・栃木県所長等、関東地方整備局長・関東地方整備局所長等の優良工

事表彰の写し及びその工種がわかる竣工時工事カルテ等の写し 1, 2

エ 重機保有状況

〔添付書類〕

- ・経営事項審査の総合評価値の通知書の写し

オ 技術職員数

〔添付書類〕

- ・経営事項審査の総合評価値の通知書の写し

カ 若手・女性技術者評価

〔提出様式〕

様式 1 - 3号「若手・女性技術者評価資料」

〔添付書類〕

- ・配置予定の「監理技術者」、「主任技術者」又は「現場代理人」が若手技術者に該当する場合は、国家資格等の写し又は実務経験経歴書

キ 週休2日制工事施工実績

〔提出様式〕

様式 1 - 4号「週休2日制（4週8休以上）工事实績証明書」

ク 建設キャリアアップシステム導入

添付書類は不要です。

ケ 配置予定技術者の同種工事施工実績，配置予定技術者が有する国家資格等，継続教育学習制度への取組み状況

〔提出様式〕

様式 1 - 5号「配置予定技術者評価資料」

〔添付書類〕

- ・評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの 3
- ・竣工時工事カルテ等の写し 3
- ・国家資格等の写し
- ・継続教育学習制度の証明の写し

コ 建設業労働災害防止協会加入状況

〔添付書類〕

建設業労働災害防止協会加入証明書の写し 2

サ ISO等取得状況

〔添付書類〕

- ・ISOの登録書の写し 2
- ・事業所版環境ISOの写し 2

シ 宇都宮版CSR認証取得状況

添付書類は不要です。

ス 消防団活動への協力

添付書類は不要です。

セ BCP認定

添付書類は不要です。

ソ 災害時協力協定締結状況

〔添付書類〕

- ・宇都宮市又は栃木県との協定書の写し 2
(団体で締結している場合は協力者名簿等の写しも添付してください。)

タ 市内業者の施工割合

〔提出様式〕

様式 1 - 6号「宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合に係る誓約書」

チ 施工場所からの本店距離等

〔提出様式〕

様式 1 - 8号「施工場所からの本店距離等評価資料」

〔添付書類〕

・竣工時工事カルテ等の写し等

ツ 道路保全業務実績

添付書類は不要です。

【 印は提出を省略できる書類です。】

- 1 「優良工事表彰」が宇都宮市長表彰の場合
- 2 同一年度内の2回目以降の参加であり、提出済の認定書等の有効期限が切れていないもの
- 3 「配置予定技術者の同種工事施工実績」の工事が「同種工事施工実績」の工事と同一の場合

- 2 評価基準を満たしていることを提出された書類で確認できない場合には評価しません。
- 3 提出する書類はタイプ別で異なりますので注意してください。
- 4 提出する書類の作成方法等については、別添の記載例を参考にしてください。

記載例

様式1号(評価項目算定用)

評価方式 専用

公告に記載されたタイプ別の様式を使用してください。

年 月 日

(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一

施工能力評価方式は「公告に記載の評価項目算定資料提出日」を記入してください。
実績評価方式は「評価項目算定資料提出日」を記入してください。

共同企業体の場合は、

- ・共同企業体名
 - ・代表者の商号又は名称, 代表者氏名
 - ・構成員の商号又は名称, 代表者氏名
- を記入してください。
住所(所在地)は不要です。

住所(所在地) 宇都宮市旭1丁目1番5号
商号又は名称 建設(株)
代表者氏名 代表取締役 宇都宮 太郎

評価項目算定資料の提出について

下記の工事について、次のとおり評価項目算定資料を提出します。

1 工事名 道路改良工事

公告, 設計書に記載のとおり
記入してください。

2 工事箇所 宇都宮市旭1丁目 市道 号線

3 評価項目算定資料

評価項目算定資料一覧表	(様式1-1号)
同種工事施工実績評価資料	(様式1-2号)
若手・女性技術者評価資料	(様式1-3号)
週休2日制工事施工実績	(様式1-4号)
配置予定技術者評価資料	(様式1-5号)
宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合に係る誓約書	(様式1-6号)

【連絡先】担当者 所 属 部 課
氏 名 宇都宮 花子
電話番号 028-xxxx-xxxx
FAX 028-xxxx-xxxx

今回の資料に関する問合せ先, ご担当者について
必ず記入してください。

施工能力評価方式 - 標準案件

記載例

評価項目算定資料一覧表

工事名 _____
 工事場所 _____
 所在地 _____
 商号又は名称 _____
 代表者氏名 _____

太線内を記入してください。

評価項目	評価基準	配点	該当する評価基準をつける。(応札者)	提出枚数(応札者)	提出書類	評価結果(発注者)
1	工事成績評定点	75点以上 67.0点以上75.0点未満又は工元請実績あり 67点未満又は工元請実績あり 一次下請実績あり 一次下請実績あり(永年保証あり)	0	○	10枚	(様式1-2号) 施工実績評価資料及び添付書類
3	優良工事表彰状況 1	同工種の優秀賞受表彰歴あり	2.0	○	1枚	(様式1-3号) 若手・女性技術者評価資料
		同工種の受表彰歴あり	1.5	○		
		異工種の優秀賞受表彰歴あり	1.0	○		
		異工種の受表彰歴あり	0.5	○		
		受表彰歴なし	0	○		
4	若手・女性技術者評価	配置あり	項目数による評価 2項目:1.0点 1項目:0.5点 0項目:0点	○	1枚	(様式1-4号) 週休2日制工事施工実績
		配置なし		○		
	週休2日制工事施工実績	実績あり 実績なし		○		
5	建設キャリアアップシステム導入	登録あり	0	○	1枚	(様式1-5号) 配置予定技術者評価資料及び添付書類
		登録なし		○		
6	配置予定技術者の同種工事施工実績 2	実績あり	1.5	○	10枚	(様式1-5号) 配置予定技術者評価資料及び添付書類
		実績なし	0	○		
7	配置予定技術者が有する国家資格等	1級国家資格者等	0.25	○	10枚	・協会等の発行する証明書の写し(評価項目算定資料提出日から過去1年間に取得していることが証明できるものに限り。インターネット上の検索結果の写しは不可。)
		2級国家資格者	0.12	○		
		資格なし	0	○		
8	継続教育学習制度への取組み状況	実績あり	同一年度内の2回目以降の参加時には提出を省略できます。その際は「提出済」と記載してください。ただし、提出済である書面等の写しの有効期限が切れている場合は評価しません。	○	提出済	・建設業労働災害防止協会加入証明書の写し(評価項目算定資料提出日から1年以内に発行されたものに限り。)
		実績なし		○		
	建設業労働災害防止協会加入状況	加入		○		
		未加入		○		
	ISO等取得状況	ISO9001又はISO14001又はISO27001又は環境ISO(エコアクション21又はエコアクションのみや21)のいずれかを取得		5項目:1.5点 3~4項目:1.0点 1~2項目:0.5点 0項目:0点		
取得あり		0	○			
取得なし			○			
宇都宮版CSR認証取得状況	認定あり	0	○			
	認定なし		○			
消防団活動協力	認定あり	0	○			
	認定なし		○			
BCP認定	認定あり	0	○			
	認定なし		○			
9	災害時協力協定締結状況	締結あり	0.25	○	3枚	宇都宮市又は栃木県との協定書・名簿の写し
		締結なし	0	○		
10	市内事業者の施工割合	90%以上	0.25	○	1枚	(様式1-6号) 誓約書
		50%以上90%未満	0.12	○		
		50%未満	0	○		
11	施工計画	優	7.00~5.96	○	1枚	(様式1-7号) 施工計画
		良	5.7~4.15	○		
		可	3.89~1.3	○		
		不可	1.04~0	○		

該当する評価基準に「」を記入してください。斜線の項目は入力不要。

提出書類の枚数(各様式+添付書類)を記載してください。斜線の項目は入力不要。

同一年度内の2回目以降の参加時には提出を省略できます。その際は「提出済」と記載してください。ただし、提出済である書面等の写しの有効期限が切れている場合は評価しません。

1 優良工事表彰対象機関は

- ・宇都宮市長表彰(優良建設工事表彰又は優秀賞)
 - ・栃木県知事
 - ・関東地方整備局長
 - ・栃木県所長等
 - ・関東地方整備局所長等
- とします。

- 2 配置予定技術者を1名に特定できない場合、複数名とすることができる。この場合においては、配置予定技術者の施工実績について提出を求める算定資料は、すべての配置予定技術者について提出すること。また、評価点については最も低い評価を受けた配置予定技術者の点数を用いるものとする。

(注)

- 1 評価基準について、該当する項目に をつけること。
- 2 提出書類の枚数欄に記入した書類を提出すること。
- 3 「7 配置予定技術者の同種工事施工実績」の工事が「2 同種工事施工実績」の工事と同一の場合には、添付書類を省略できる。
- 4 優良工事表彰のうち市長表彰については、表彰状の写し及びその工種が確認できる書面等の写しの添付を省略できる。
- 5 優良工事表彰のうち市長表彰以外の表彰状の写し等、ISO認定書等の写し及び建設業労働災害防止協会加入証明書の写しについては、同一年度内の2回目以降の参加時には提出を省略できる。その際は、提出書類の枚数欄に「提出済」と記入すること。ただし、提出済の認定書等が有効期限を経過した場合には再度提出すること。
- 6 評価結果欄には記入しないでください。

算定基準をよく確認のうえ太枠線内を記入してください。

実績評価方式 - 土木系

記載例

評価項目算定資料一覧表

自社の宇都宮市長部局発注工事の工事成績評定点が不明なときは契約課へお問合せください。

【問合せ方法】

「工事成績評定点に関する質問書」に必要事項を記入し、提出日（設計図書に関する質問提出日と同日）までに契約課へ提出してください。後日（設計図書に関する質問回答日と同日）、書面にて回答します。

太線内を記入してください。

各項目の評価点と合計は小数点第2位まで表示してください。

項目番号	項目名	評価基準	自己採点 (応札者)	評価結果 (発注者)	
1	工事成績評定点	75.0点以上 67.0点 67.0点未満 元請実績あり 一次下請実績あり(条件を満たす)	75.00 点	5.00	
2	同種工事施工実績	0 0.5 1.0	○	2.00	
3	優良工事表彰状況	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。	○	1.00	
4	重機保有状況	5台以上	5 台	0.75	
5	技術職員数	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。	10 人	0.25	
6	若手・女性技術者評価	配置なし	○	1.00	
7	週休2日制工事施工実績	実績あり	○		
		実績なし	○		
8	建設キャリアアップシステム導入	登録あり	○	0.50	
		登録なし	○		
9	配置予定技術者の同種工事施工実績	実績あり 実績なし	○ ○	3.00	
10	配置予定技術者が有する国家資格等	1級国家資格者等 2級国家資格者 資格なし	○ ○ ○	1.00	
11	継続教育学習制度への取組み状況	0.5 0	○ ○	0.50	
12	配置予定技術者の工事成績評定点	3.0 2.97 ~ 1.0 67点未満又は工事成績評定点なし	75.00 点	3.00	
13	建設業労働災害防止協会加入状況	加入	○	1.50	
		未加入	○		
		ISO等取得状況	項目数による評価 5項目:1.5点 3~4項目:1.0点 1~2項目:0.5点 0項目:0点		○
		宇都宮版CSR認証取得状況	取得あり 取得なし		○ ○
		消防団活動協力	認定あり 認定なし		○ ○
14	BCP認定	認定あり 認定なし	○ ○	0.25	
		締結あり 締結なし	○ ○		
15	災害時協力協定締結状況	0.25 0	○ ○	0.25	
16	市内事業者の施工割合	宇都宮市内に本社を有する業者の施工割合を記入してください。	100.00 %	0.25	
合計			19.50		

過去3か年度の平均値を記入してください。(工種が同じ工事のみ)

該当する評価基準に「」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。

過去3か年度の配置予定技術者の同種工事の平均値を記入してください。

宇都宮市内に本社を有する業者の施工割合を記入してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

プルダウンから該当する評価点を選択してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

プルダウンから該当する評価点を選択してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

- 1 工事成績評定点は下式により算出する。
 評価点 = 平均値 / 2 - 32.5 (小数点第3位以下切捨て)
- 2 優良工事表彰対象機関は
 - ・宇都宮市長
 - ・栃木県知事
 - ・関東地方整備局長
 - ・栃木県所長等
 - ・関東地方整備局所長等
 とします。
- 3 配置予定技術者を1名に特定できない場合、複数名とすることができる。この場合の評価点については、最も低い評価を受けた配置予定技術者の点数を用いるものとする。
- 4 配置予定技術者の工事成績評定点は下式により算出する。
 評価点 = 平均値 / 4 - 15.75 (小数点第3位以下切捨て)
- 5 市内事業者の施工割合の算出方法
 - (1) 元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合は、下記の例により算出する。
 (金額は消費税を含む)。

請負金額：1,000万円

元請	1次下請	2次下請
A社(市内本店事業者) 請負額 A 1,000万円 下請額 A 800万円 施工額 A = A - A 200万円	B社(市内本店事業者) 請負額 B 500万円 下請額 B 300万円 施工額 B = B - B 200万円	E社 請負額 300万円
	C社 請負額 C 200万円 下請額 C 100万円 施工額 C = C - C 100万円	F社 請負額 100万円
	D社(市内本店事業者) 請負額 D 100万円 下請額 D 0万円 施工額 D = D - D 100万円	

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (元請と1次下請の市内事業者施工額合計) ÷ (元請と1次下請の施工額合計) × 100
 = (A + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 500万円 ÷ 600万円 × 100 83% (小数点以下切り捨て)

- (2) 元請が特定JVである場合は、その代表者を含む全構成員のうち、宇都宮市内に本店を有する事業者の出資比率の合計(%)を元請の施工額A に乗じた額を、宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額とみなす。

例) 上記の例で、元請が特定JVで、出資比率[代表者(市外事業者)50%、構成員1(市内事業者)30%、構成員2(市内事業者)20%]の場合

宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額
 = A × (30% + 20%) = 200万円 × 50% = 100万円

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (100万円 + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 400万円 ÷ 600万円 × 100 66% (小数点以下切り捨て)

算定基準をよく確認のうえ、太線内を記入してください。

「自己採点(応札者)」欄に入力する各項目の評価点と合計は、小数点第2位まで表示してください。
 このエクセルはPDF等に変換しないでください。

実績評価方式 - 建築系

記載例

評価項目算定資料一覧表

自社の宇都宮市長部局発注工事の工事成績評定点が不明なときは契約課へお問合せください。

【問合せ方法】

「工事成績評定点に関する質問書」に必要事項を記入し、提出日（設計図書に関する質問提出日と同日）までに契約課へ提出してください。後日（設計図書に関する質問回答日と同日）、書面にて回答します。

太線内を記入してください。

各項目の評価点と合計は小数点第2位まで表示してください。

項目番号	項目名	評価基準	配点	該当する評価基準に又は状況等を記入する。(応札者)	自己採点(応札者)	評価結果(発注者)
1	工事成績評定点	75点以上 67.0点 67点未満	4.95~1.0	75.00 点	5.00	
2	同種工事施工実績	元請実績 一次下請実績	1.0 0.5	○	2.50	
3	優良工事表彰状況	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。	1.0 0.75 0.5	○	1.00	
4	重機保有状況	受影歴なし	0.25 0	5 台	0.25	
5	技術職員数	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工事種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。	0.25 0	10 人	0.75	
6	若手・女性技術者評価		目数による評価	○	1	
	週休2日制工事施工実績	実績あり 実績なし	2項目:1.0点 1項目:0.5点 0項目:0点	○		
	建設キャリアアップシステム導入	登録あり 登録なし		○		
7	配置予定技術者の同種工事施工実績	実績あり 実績なし	3.0 0	○	3.00	
8	配置予定技術者が有する国家資格等	1級国家資格者等 2級国家資格者 資格なし	1.0 0.25 0	○	1.00	
9	継続教育学習制度への取組み状況	実績あり 実績なし	0.5 0	○	0.50	
10	配置予定技術者の工事成績評定点	過去3か年度の配置予定技術者の同種工事の平均値を記入してください。	3.0 0.75 0	75.00 点	3.00	
11	建設業労働災害防止協会加入状況	加入 未加入		○		
	ISO等取得状況	ISO9001又はISO14001,事業所版環境ISO(エコアクション21又はエコうつのみや21)のいずれかを取得 なし	項目数による評価 5項目:1.5点 3~4項目:1.0点 1~2項目:0.5点 0項目:0点	○	1.50	
	宇都宮版CSR認証取得状況	取得あり 取得なし		○		
	消防団活動協力	認定あり 認定なし		○		
	BCP認定	認定あり 認定なし		○		
12	災害時協力協定締結状況	締結あり 締結なし	0.25 0	○	0.25	
13	市内事業者の施工割合	90 50 50	0.25 0.125 0	100.00 %	0.25	
					20.00	

過去3か年度の平均値を記入してください。(工種が同じ工事のみ)

該当する評価基準に「」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工事種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。

過去3か年度の配置予定技術者の同種工事の平均値を記入してください。

宇都宮市内に本社を有する業者の施工割合を記入してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

プルダウンから該当する評価点を選択してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

プルダウンから該当する評価点を選択してください。

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

- 1 工事成績評定点は下式により算出する。
評価点 = 平均値 / 2 - 32.5 (小数点第3位以下切捨て)
- 2 優良工事表彰対象機関は
・宇都宮市長
・栃木県知事
・関東地方整備局長
・栃木県所長等
・関東地方整備局所長等
とします。
- 3 配置予定技術者を1名に特定できない場合、複数名とすることができる。この場合の評価点については、最も低い評価を受けた配置予定技術者の点数を用いるものとする。
- 4 配置予定技術者の工事成績評定点は下式により算出する。
評価点 = 平均値 / 4 - 15.75 (小数点第3位以下切捨て)
- 5 市内事業者の施工割合の算出方法
(1) 元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合は、下記の例により算出する。
(金額は消費税を含む)。

請負金額：1,000万円

元請	1次下請	2次下請
A社(市内本店事業者) 請負額 A 1,000万円 下請額 A 800万円 施工額 A = A - A 200万円	B社(市内本店事業者) 請負額 B 500万円 下請額 B 300万円 施工額 B = B - B 200万円	E社 請負額 300万円
	C社 請負額 C 200万円 下請額 C 100万円 施工額 C = C - C 100万円	F社 請負額 100万円
	D社(市内本店事業者) 請負額 D 100万円 下請額 D 0万円 施工額 D = D - D 100万円	

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (元請と1次下請の市内事業者施工額合計) ÷ (元請と1次下請の施工額合計) × 100
 = (A + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 500万円 ÷ 600万円 × 100 = 83% (小数点以下切り捨て)

- (2) 元請が特定JVである場合は、その代表者を含む全構成員のうち、宇都宮市内に本店を有する事業者の出資比率の合計(%)を元請の施工額Aに乘じた額を、宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額とみなす。

例) 上記の例で、元請が特定JVで、出資比率[代表者(市外事業者)50%、構成員1(市内事業者)30%、構成員2(市内事業者)20%]の場合

宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額
 = A × (30% + 20%) = 200万円 × 50% = 100万円

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (100万円 + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 400万円 ÷ 600万円 × 100 = 66% (小数点以下切り捨て)

算定基準をよく確認のうえ、太線内を記入してください。
「自己採点(応札者)」欄に入力する各項目の評価点と合計は、小数点第2位まで表示してください。
このエクセルはPDF等に変換しないでください。

実績評価方式 - ほ装系

記載例

評価項目算定資料一覧表

自社の宇都宮市長部局発注工事の工事成績評定点が不明なときは契約課へお問合せください。

【問合せ方法】

「工事成績評定点に関する質問書」に必要事項を記入し、提出日（設計図書に関する質問提出日と同日）までに契約課へ提出してください。後日（設計図書に関する質問回答日と同日）、書面にて回答します。

太線内を記入してください。

各項目の評価点と合計は小数点第2位まで表示してください。

項目番号	項目名	評価基準	配点	該当する評価基準に又は状況等を記入する。(応札者)	自己採点(応札者)	評価結果(発注者)
1	工事成績評定点	75点 67.0点 67点未満	4.95~1.0	75.00 点	5.00	
2	同種工事施工実績	元請実績あり 一次下請実績あり(条件を満たす)	1.0 0.3	○	1.00	
3	重機保有状況	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。	0.15 0.75 0.5	10 台	0.75	
4	技術職員数		0.12 0.25 0.15	10 人	0.25	
5	若手・女性技術者評価 週休2日制工事施工実績	「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。	目数による評価 項目:1.0点 項目:0.5点 0項目:0点	○ ○	1	
6	配置予定技術者の同種工事施工実績	登録あり 登録なし 実績あり 実績なし	3.0 0	○	3.00	
7	配置予定技術者が有する国家資格等	1級国家資格者等 2級国家資格者 資格なし	0.75 0.25 0	○	0.75	
8	継続教育学習制度への取組み状況	実績あり 実績なし	0.25 0	○	0.25	
9	建設業労働災害防止協会加入状況 ISO等取得状況 宇都宮版CSR認証取得状況 消防団活動協力 BCP認定	加入 未加入 ISO9001又はISO14001,事業所版環境ISO(エコアクション21又はエコうつのみや21)のいずれかを取得 なし 取得あり 取得なし 認定あり 認定なし 認定あり 認定なし	項目数による評価 5項目:1.5点 3~4項目:1.0点 1~2項目:0.5点 0項目:0点	○ ○ ○ ○	1.00	
10	災害時協力協定締結状況	締結あり 締結なし	0.25 0	○	0.25	
11	市内事業者の施工割合	90%以上 50%以上 50%未満	0.25 0.12 0	100.00 %	0.25	
12	施工場所からの本店距離等	本店まで直線距離1km以内 本店まで直線距離2km以内 本店まで直線距離3km以内 本店まで直線距離4km以内 本店まで直線距離5km以内 本店まで直線距離3km超で直線距離3km以内 上記以外(近隣の施工場所までの直線距離)	5.0 4.25 3.5 2.75 2.0	2.50 km	5.00	
13	道路保全業務実績	契約実績あり 契約実績なし			1.00	
					19.50	

過去3か年度の平均値を記入してください。(工種が同じ工事のみ)

該当する評価基準に「」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された「建設機械の所有及びリース台数」を記入してください。

「経営規模等評価結果通知書・総合評定通知書」に記載された工種毎の「技術職員数」を記入してください。技術職員数は、「一級」「基幹」「二級」「その他」の合計です。

宇都宮市内に本社を有する業者の施工割合を記入してください。

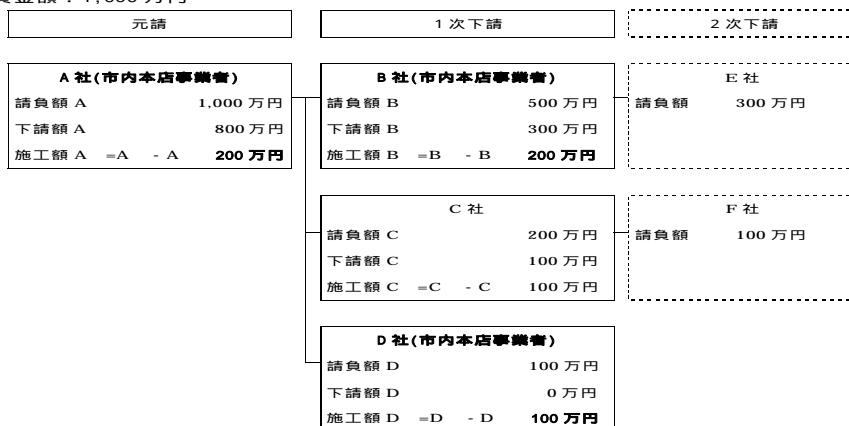
該当する項目について実際の直線距離を記入してください。(該当する項目が複数ある場合、配点の最も高い項目に記入してください。)

算出した平均値に基づき、評価点を直接記入してください。

プルダウンから該当する評価点を選択してください。

- 1 工事成績評定点は下式により算出する。
 評価点 = 平均値 / 2 - 32.5 (小数点第3位以下切捨て)
- 2 配置予定技術者を1名に特定できない場合、複数名とすることができる。この場合の評価点については、最も低い評価を受けた配置予定技術者の点数を用いるものとする。
- 3 市内事業者の施工割合の算出方法
 - (1) 元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合は、下記の例により算出する。
 (金額は消費税を含む)。

請負金額：1,000万円



元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (元請と1次下請の市内事業者施工額合計) ÷ (元請と1次下請の施工額合計) × 100
 = (A + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 500万円 ÷ 600万円 × 100 = 83% (小数点以下切り捨て)

- (2) 元請が特定JVである場合は、その代表者を含む全構成員のうち、宇都宮市内に本店を有する事業者の出資比率の合計(%)を元請の施工額A に乗じた額を、宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額とみなす。

例) 上記の例で、元請が特定JVで、出資比率[代表者(市外事業者)50%、構成員1(市内事業者)30%、構成員2(市内事業者)20%]の場合

宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額
 = A × (30% + 20%) = 200万円 × 50% = 100万円

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合
 = (100万円 + B + D) ÷ (A + B + C + D) × 100
 = 400万円 ÷ 600万円 × 100 = 66% (小数点以下切り捨て)

算定基準をよく確認のうえ、太線内を記入してください。

「自己採点(応札者)」欄に入力する各項目の評価点と合計は、小数点第2位まで表示してください。このエクセルはPDF等に変換しないでください。

記載例

様式1 - 2号 (評価項目算定用)

同種工事施工実績評価資料

工事名: 道路改良工事

工事場所: 宇都宮市旭1丁目 市道 号線 商号又は名称: 株式会社

工 事 概 要 等	発注者名	宇都宮市	工事名・工事場所は公告, 設計書 のとおりに入力してください。
	工事名	工事	
	工事箇所	宇都宮市 町 市道 号線	
	請負金額	〇〇〇,〇〇〇, 〇〇〇円 (〇,〇〇〇,〇〇〇円)	
	工期	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	
	受注形態	単体	
	工事概要	(記載例) 工事延長 . m 幅員 W= . ~ . 面積 A= .	工事概要等は, 公告に記載されている同 種・類似工事施工実績条件を満たしてい る工事の発注者名・工事名・工事箇所・ 請負金額・工期を入力してください。
工事概要		・発注者名, 請負金額, 工期, 工事内容などの評価基準を満たしていることが 具体的に記載されている書類 (契約書・設計書, 工事カルテ等) を添付して ください。	
		コリンズ登録がしてある場合は, 登録番 号を入力してください。	
CORINS登録の有無	・有 (CORINS登録番号: XXXXXXXX XXXX XXXX)	・無	

提出書類の枚数(本書+添付書類)を
記載してください。

提出書類の枚数

枚

(注)

- 1 特定JVに係る入札の場合は、実績を有する構成員について提出すること。
- 2 当該評価項目について実績を有しない場合は、本書の提出を要しない。
- 3 請負金額の()は、共同企業体の場合の全体額を記入すること。
- 4 受注形態は、単体又は JV(出資比率 %)と記載すること。
- 5 工事概要は、評価基準に該当する工事であることが確認できるように記載すること。(面積・数量等を明記)
- 6 当該工事の内容が、評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの(竣工時工事カルテ、検査結果通知書、契約書、設計書、仕様書、図面等の写し)を添付すること。
- 7 一次下請の実績の場合は、上記6のほか、元請事業者との契約関係が証明できるものを添付すること。

注意事項を必ず確認してください。

記載例

様式 1 - 3号 (評価項目算定用)

若手・女性技術者評価資料

工事名： _____

工事場所： _____ 商号又は名称： _____

区 分	主任技術者 監理技術者 現場代理人	ふりがな 氏名	うつのみや はなこ 宇都宮 花子
	若手技術者等 ・ 女性		該当に を付ける こと
	生年月日	年 月 日	
	年 齢	歳	
所 属 会 社	建設(株)	建設業許可 番 号	XX-XXXXXX

国家資格証明書等の番号	XXXXXXXXXX	取得年月日	年 月 日
-------------	------------	-------	-------

国家資格等の写しを添付
してください。

(注)

(共通)

- 1 特定JVに係る入札の場合は、代表構成員について作成し提出すること。
- 2 当該評価項目について、評価基準を満たす若手技術者等・女性がない場合は、本書の提出を要しない。

(資格等について)

- 3 配置予定技術者と異なる者を現場代理人として配置する場合(上記の区分において現場代理人かつ若手技術者等を選択した場合)、国家資格等を有する者にあつては、当該資格証明書等の写しを添付すること。
- 4 前項と同様の場合にあつて、現場代理人として配置する者が実務経験者の場合は、実務経験経歴書を添付すること。

様式第 1 - 4 号 (評価項目算定用)

週休 2 日制 (4 週 8 休以上) 工事実績証明書

(証明を依頼する相手方) 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

宇都宮市総合評価落札方式の評価項目算定資料の提出にあたり、当社が実施した週休 2 日制 (4 週 8 休以上) 工事の実績を下記のとおり証明願います。

記

工 事 名 : 工 事

工事箇所 : 県 市

工 期 : 年 月 日 ~ 年 月 日

上記のことについて貴社の工事が週休 2 日制 (4 週 8 休以上) 工事として実施されたことを証明します。

年 月 日

証 明 者
事務所

所長 印

(注) 週休 2 日制 (4 週 8 休以上) 工事とは発注機関の要領等により 4 週 8 休以上 を達成した工事をいう。

記載例

様式 1 - 5号 (評価項目算定用)

評価方式専用

配置予定技術者評価資料

公告に記載されたタイプ別の様式を使用してください。

工事名: 道路改良工事

工事場所: 宇都宮市旭1丁目 市道 号線

商号又は名称: 株式会社

区 分	主任技術者 監理技術者	ふりがな 氏名	うつのみや いちろう 宇都宮 一郎	年齢	歳
所 属 会 社	建設(株)		建設業許可番号	XX-XXXXXX	

国家資格証明書等の番号	XXXXXXXXXX	取得年月日	年 月 日
監理技術者資格者証番号	XXXXXXXXXX	交付年月日	年 月 日
監理技術者講習修了証番号	XXXX-XXXXXXX-X	修了年月日	年 月 日

工 事 経 験	発注者名	宇都宮市	国家資格等の写しを添付してください。
	工事名	道路築造工事	
	工事箇所	宇都宮市 町 市道 号線	
	請負金額	〇〇〇,〇〇〇, 〇〇〇円 (〇,〇〇〇,〇〇〇円)	
	工期	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	
	従事役職	現場代理人, 主任技術者, 監理技術者	
	工事概要	工事経験は, 公告に記載されている同種・類似工事施工実績条件を満たしている工事の発注者名・工事名・工事箇所・請負代金・工期を記入してください。	
	・発注者名, 請負金額, 工期, 工事内容などの評価基準を満たしていることが具体的に記載されている書類(契約書・設計書, 工事カルテ等)を添付してください。		
	「監理技術者」, 「主任技術者」又は「現場代理人」として担当した過去3か年度(公告日の属する年度を含まない)に検査を完了した工事(本工事と同一工種)の工事成績点の有無を選択してください。		
	コリンズ登録がしてある場合は, 登録番号を記入してください。		
	CORINS	有無	・有 (CORINS 登録番号) XXXXXXXX XXXX XXXXX ・無

評価対象となる 工事成績評定点の有無	・有	登録証明書等の写しを添付してください。	・無
-----------------------	----	---------------------	----

継続教育学習制度への取組	・有	・無
--------------	----	----

提出書類の枚数(本書+添付書類)を記載してください。

提出書類の枚数 枚

(注)

注意事項を必ず確認してください。

(共通)

- 1 特定JVに係る入札の場合は、代表者について提出すること。
- 2 当該評価項目について実績を有しない場合であっても、配置予定技術者の有する資格証等の写しを添付し本書を提出すること。
- 3 本工事に主任技術者、監理技術者又は現場代理人として配置する予定の技術者(以下「技術者等」という。)について作成すること。なお、現場代理人については、若手技術者等を配置する場合のみ作成すること。
- 4 実際の工事の施工にあたって、種々の状況からやむを得ないものとして発注者が承認した場合のほかは、本書に記載した技術者以外の者への変更は認めない。

(資格について)

- 5 国家資格者等にあつては、当該資格証明書等の写しを添付すること。また、監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習終了証の写しを添付すること。(ただし、平成16年2月29日以前に監理技術者資格者証を交付された者は、監理技術者証の写しのみで足りる。)

(工事経験について)

- 6 工事概要は、評価基準に該当する工事であることが確認できるように記載すること。
- 7 工事経験を有する工事は、同種工事施工実績評価資料(様式1-2号)の工事と同一でなくてもよい。
- 8 当該工事の内容が、評価基準に該当する工事で、かつ終了していることを証明できるもの(竣工時工事カルテ、検査結果通知書、契約書、設計書、仕様書、図面等の写し)を添付すること。

(評価対象となる工事成績評定点の有無について)

- 9 過去3か年度(公告日の属する年度を含まない)に、配置予定技術者が「監理技術者」、「主任技術者」又は「現場代理人」として担当した宇都宮市及び宇都宮市上下水道局発注工事がある場合に「有」を選択すること。ただし、参加申請する案件と同工種の工事で、工事成績評定点があるものに限る。
- 10 「有」を選択した場合、市で評価対象となる平均点を算出する。「無」を選択した場合は、算出しない。

(継続教育学習について)

- 11 公告文に記載した協会等の発行する証明書の写しを添付すること。(ただし、開札日から過去1年間に取得していることが証明できるものに限る。インターネット上の検索結果の写しは不可。)

【施工能力評価方式】

公告に記載の評価項目算定資料提出日を含む過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。

【実績評価方式】

開札日から過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。

実務経験経歴書 (主任技術者用)

ふりがな 技術者氏名	うつのみや いちろう		
	宇都宮 一郎		
最終学歴	大学 工学部 電気工学科 年 月卒業		
実務経験業種	建築一式	実務経験年数	年
法該当区分 (該当区分に)	建設業法第7条第2号	イ・ □ ・八	
実務経歴	実務内容	経験期間	所属会社名
	通信設備整備工事	自 年 月 至 年 月	電気設備(有)
	電気工事	自 年 月 至 年 月	(株) 電気工業
		自 年 月	
<p>・ 配置する若手技術者について、以下が確認できるように記載すること。</p> <p>35歳以下の場合：実務経験10年以上 (過去10年間の<u>主な従事工事5件</u>を記載)</p> <p>36歳以上の場合：実務経験5年以上10年以下 (過去5～10年間の<u>主な従事工事5件</u>を記載)</p> <p>・ 記載する経歴に偏りがないように記載すること。</p> <p>< 10年間の主な従事工事5件を記載する場合の例 ></p> <p><u>10年前の工事, 8年前の工事, 6年前の工事, 4年前の工事, 2年前の工事の主なものを記載する等, 継続して実務に従事していることが確認できるように記載</u></p>			
有 (宇都宮市発注工事 其他官公庁 民間)		無	
過去に公共工事に携わった経験 (元請・下請含む) の有無			
有 (実務内容： 通信設備整備工事での工程管理)		無	

評価項目「若手・女性技術者評価」において、主任技術者として配置を予定しており、実務経験による評価を必要とする場合は提出してください。

上記のとおり相違ありません。

所在地 宇都宮市 丁目 番地
 商号又は名称 (株) 電気工業
 代表者職氏名 代表取締役 宇都宮 太郎

実務経験経歴書 (現場代理人用)

ふりがな 技術者氏名	うつのみや いちろう		
	宇都宮 一郎		
実務経験業種	建築一式	実務経験年数	年
実務経歴	実務内容	経験期間	所属会社名
	通信設備整備工事	自 年 月 至 年 月	電気設備(有)
	電気工事	自 年 月 至 年 月	(株) 電気工業
<p>・ 配置する現場代理人について、以下が確認できるように記載すること。</p> <p>35歳以下の場合：実務経験10年以上 (過去10年間の<u>主な従事工事5件</u>を記載)</p> <p>36歳以上の場合：実務経験5年以上10年以下 (過去5～10年間の<u>主な従事工事5件</u>を記載)</p> <p>・ 記載する経歴に偏りが無いように記載すること。</p> <p>< 10年間の主な従事工事5件を記載する場合の例 ></p> <p><u>10年前の工事</u>，<u>8年前の工事</u>，<u>6年前の工事</u>，<u>4年前の工事</u>，<u>2年前の工事の主なものを記載する等</u>，<u>継続して実務に従事していることが確認できるように記載</u></p>			
有 (宇都宮市発注工事 その他官公庁 民間)		無	
過去に公共工事に携わった経験 (元請・下請含む) の有無			
有 (実務内容： 通信設備整備工事での工程管理)		無	

評価項目「若手・女性技術者評価」において、現場代理人として配置を予定しており、実務経験による評価を必要とする場合は提出してください。

上記のとおり相違ありません。

所在地 宇都宮市 丁目 番地
 商号又は名称 (株) 電気工業
 代表者職氏名 代表取締役 宇都宮 太郎

記載例

様式 1 - 6 号 (評価項目算定用)

宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合に係る誓約書

工事名 道路改良工事

施工場所 宇都宮市旭 1 丁目 市道 号線

開札日 年 月 日

入札番号 NO. _____

注意事項の算出方法を参照し、
施工割合を記入してください。

上記工事を受注した際には、元請と 1 次下請における宇都宮市内に本店を
有する事業者の施工割合を xx % 以上とすることを誓約いたします。

なお、不履行の際にはいかなる措置を受けましても異論ありません。

年 月 日

(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一

共同企業体の場合は、
・共同企業体名
・代表者の商号又は名称、代表者氏名
・構成員の商号又は名称、代表者氏名
を記入してください。
住所(所在地)は不要です。

住 所 宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号

商号又は名称 株式会社

代表者氏名 代表取締役 宇都宮 太郎

注意事項を必ず確認
してください。

(注)

- 1 元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合は、下記の例により算出する(金額は消費税を含む)。

請負金額：1,000万円

元請	1次下請	2次下請
A社(市内本店事業者) 請負額 A 1,000万円 下請額 A 800万円 施工額 A =A - A 200万円	B社(市内本店事業者) 請負額 B 500万円 下請額 B 300万円 施工額 B =B - B 200万円	E社 請負額 300万円
	C社 請負額 C 200万円 下請額 C 100万円 施工額 C =C - C 100万円	F社 請負額 100万円
	D社(市内本店事業者) 請負額 D 100万円 下請額 D 0万円 施工額 D =D - D 100万円	

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合

$$\begin{aligned}
 &= (\text{元請と1次下請の市内事業者施工額合計}) \div (\text{元請と1次下請の施工額合計}) \times 100 \\
 &= (A + B + D) \div (A + B + C + D) \times 100 \\
 &= 500 \text{万円} \div 600 \text{万円} \times 100 = \underline{\underline{83\%}} \text{(小数点以下切り捨て)}
 \end{aligned}$$

- 2 元請が特定JVである場合は、その代表者を含む全構成員のうち、宇都宮市内に本店を有する事業者の出資比率の合計(%)を元請の施工額Aに乘じた額を、宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額とみなす。

例) 上記の例で、元請が特定JVで、出資比率【代表者(市外事業者)50%、構成員1(市内事業者)30%、構成員2(市内事業者)20%】の場合

宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額

$$= A \times (30\% + 20\%) = 200 \text{万円} \times 50\% = 100 \text{万円}$$

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合

$$\begin{aligned}
 &= (100 \text{万円} + B + D) \div (A + B + C + D) \times 100 \\
 &= 400 \text{万円} \div 600 \text{万円} \times 100 = \underline{\underline{66\%}} \text{(小数点以下切り捨て)}
 \end{aligned}$$

- 3 誓約書の内容の履行状況は、完成時に下請体制表により確認する。誓約書の内容が履行されない場合は、工事成績評定点を減ずる措置を行う。工事成績評定点の減点は、審査項目「法令遵守等」の文書注意相当とし最大2点を減点する。

記載例

様式 1 - 7号 (評価項目算定用)

施 工 計 画

工 事 名		商 号 又 は	
工 事 箇 所		名 称	

工程管理について・・・

工事名・工事箇所は、公告、設計書のとおり
に記入してください。

円滑な工程管理の方法等に関して特筆すべき提案

テーマを確認し、テーマ内容について記載
してください。

品質管理について・・・

について記載すること。

工事の特性を踏まえた重点管理箇所の指定や、特筆すべき管理手法、厳正な社内規格値の設定など、工事目的物の品質向上に関する提案を具体的に記載すること。

施工上特に配慮すべき事項・・・

について記載すること。

施工箇所において、特に必要とされる安全管理や騒音振動などの環境管理対策などに配慮を要する点の明記と、その対応策について具体的内容を記載すること。

注意事項を必ず確認して
ください。

【注意事項】

- 文字の大きさは 10.5 ポイントとし、全角文字で記載すること。
- 1行につき 50 文字を記載すること。
- 全項目を合算して文字数 1,600 字以内で記載すること。
- 余白の設定 (文字数) は変更しないこと。ただし、行数については変更可とする。
- A4用紙 1 頁で作成すること。(図表等の参考資料を A4 用紙 1 頁で添付することは可とする。)
- 重要度の高い順に箇条書きで簡潔に記載すること。
- 当該工事の特性を十分把握した上で、工夫する事項について具体的に記載すること。
- 次頁の「評価されない事項」を参考にすること。
- 以下の項目については、削除のうえ作成すること。
 - 各項目の記載枠内に示した (記載すべき内容について)
 - 破線内の **【注意事項】**

評価されない事項

当該工事の特性に合わせたものでないもの

- ・ 設計図書，共通仕様書，法令及び各種指針，便覧，仕様書並びに各種基準に規定された内容を単に転写したもの
- ・ 施工箇所の特性（地形，地質，気象，環境，地域性等）が考慮されていないもの

効果が不明確なもの

- ・ 提案内容の効果が証明されないもの
- ・ 曖昧な表現のもの
「必要に応じて・・・努力する。」，「原則として・・・」，「・・・するように努める。」，
「出来るだけ・・・」，「必要に応じて・・・」など
- ・ 実施することで品質の低下が懸念されるもの
- ・ 履行の確実性・実効性に疑義があるもの

その他

- ・ 仕様書や法令等に反する記載をしているもの
- ・ 施工時の安全性への配慮が欠けるもの
- ・ 工事目的物の変更が伴うもの
- ・ 各項目において，ひとつの提案とすべき内容を複数提案として分けたもの
- ・ 近接する他工事との調整や他機関等との協議を要するもの
- ・ 工夫の範疇を超えた，施工価格が大幅に上昇することが予想されるもの
- ・ その他

記載例

様式 1 - 8号 (評価項目算定用)

施工場所からの本店距離等評価資料

工事名・施工場所は公告、設計書のとおりに入力してください。

工事名： _____
 施工場所： _____ 商号又は名称： _____

(1) 本店	所在地					
	今回の施工場所から本店所在地までの直線距離	(いずれかに つけること)	1 km以内	2 km以内	3 km以内	3 km以内の場合はのみ記載する。
			4 km以内	5 km以内	5 km超	3 km超で に該当する場合は に記載する。

今回の施工場所から本店所在地までの直線距離が 3 km超で、近隣での施工場所までの直線距離が 3 km以内の施工実績がある場合は次に記載してください。

(2) 近隣での施工実績	発注者名	
	工事名	
	近隣での施工場所	
	請負金額	円
	今回の施工場所から近隣での施工場所までの位置図	今回の施工場所から近隣での施工場所までの直線距離 _____ km <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・今回の施工場所から近隣での施工場所までの地図を記載してください。地図については別紙でも可とします。 ・また、近隣での施工が要件を満たしていることが具体的に記載されている書類(契約書・設計書、竣工時工事カルテ等)を添付してください。</p> </div>

提出書類の枚数(本書 + 添付書類)を記載してください。

提出書類の枚数	枚
---------	---

**注意事項を必ず確認
してください。**

(注)

(本店について)

- 1 宇都宮市建設工事入札参加有資格者名簿に記載の本店（建設業法上の主たる営業所）の所在地を記載すること。
- 2 記載された距離については、評価資料受領後、宇都宮市庁内イントラネットシステム上の電子地図（以下「電子地図」という）を使用して改めて計測し、修正することがある。この場合の本店所在地は、記載された本店所在地の地番又は住居表示を電子地図に入力した際に表示される地点とし、距離は、工事の施工範囲のうち、本店所在地に最も近い点から本店所在地までを結んだ直線距離とする。

(近隣での施工実績について)

- 3 今回の工事場所の近隣での過去の施工実績について記載すること。複数ある場合は、距離が最も近いものについて記載すること。
- 4 が3 km超となった場合のみ評価する。
- 5 宇都宮市又は宇都宮市上下水道局発注の請負金額500万円超の建設工事で、開札日から過去10年以内に完成したものに限る。工事の種類は問わない。
- 6 当該工事の内容が、上記5に該当すること及び施工場所が確認できる資料（竣工時工事カルテ、検査結果通知書、契約書、設計書などの写し）を添付すること。施工場所が明確に確認できない場合は評価しない。
- 7 今回の施工場所から近隣での施工場所の位置図には、地図を記載するとともに、今回の施工場所と近隣での施工場所を記載し、距離を明記すること。地図については、別紙でも可とする。
- 8 記載された距離については、評価資料受領後、電子地図を使用して改めて計測し、修正することがある。この場合の距離は、2つの工事の施工範囲のうち、互いに最も近い点を結んだ直線距離とする。

様式1 - 5号の添付書類の見本です。
(技術者1人ごとに、国家資格等と監理技術者証を
A4版の用紙1枚にコピーした例です。)



番号

1級技術検定合格証明書

本籍
氏名

昭和 年 月 日生

建設業法の規定に基づく平成 年度土木
施工管理に関する1級の技術検定に合格し
たことを証し、1級土木施工管理技士と称す
ることを認める。

平成 年 月 日

国土交通大臣

監理技術者講習修了証
修了証番号第0000-0000000000-0号
本籍
氏名 宇都宮 一郎
(生年月日 昭和00年0月0日)
この者は、建設業法第46条の国土交通大臣の登録を受け
た講習の修了を証した者であること証します。
修了年月日 平成00年00月00日
株式会社建設産業振興センター
・財団法人建設業振興基金
代表 〇〇〇〇
(登録番号第0号)

氏名 宇都宮 一郎 昭和00年0月0日生 本籍
住所 栃木県宇都宮市旭丁目〇番〇号
初回交付平成00年0月0日 交付 平成00年0月0日
交付番号 第 0000000000 号
監理技術者資格者証
平成00年00月00日 まで有効
国土交通大臣指定資格者証交付機関
財団法人 建設業技術者センター 理事長
所属団体番号 〇〇建設科 第000000号
資する 一土配
資格
建設業の種類 土木大臣と石炭電管夕陽管科の仮設掘削内掘削掘削共其の別種
有・無 10000000001000010000000000100

注意事項

- 建設業法第26条第4項の規定により選任されている
監理技術者は、当該選任の期間中のいずれの日におい
てもその日の前5年以内に行われた講習を受講して
いなければならない。
- 発行者から本証の提示を求められることがある。
- 本証は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

備考

技術士 CPD 登録証明書

(氏名)	宇都宮 一郎	(技術部門)
(登録番号)	*****	〇〇部門

対象期間： 〇〇〇〇年4月 ～ 〇〇〇〇年3月

合計CPD時間： 177.5 CPD時間

課題別CPD時間：

課題区分	CPD時間
A 一般共通課題	
B 技術課題	
合計	

形態別CPD時間：

形態区分	CPD時間
1. 講習会、研修会、講演会、シンポジウム等への参加（受講）	102.5
2. 論文等・報告文などの発表、査読	30.0
3. 企業内研修（受講）	10.0
4. 研修会・講習会などの講師・修習技術者指導	0.0
5. 産業界における業務経験	15.0
6. 資格取得, 委員会活動, 大学等での研究開発, 図書執筆, 自己学習など	20.0
合計	177.5

(注)表中のCPD時間の内訳の合計は四捨五入のため合計欄の数値と一致しないことがあります。

対象期間は次のとおりです。**【施工能力評価方式】****公告に記載の評価項目算定資料提出日を含む過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。****【実績評価方式】****開札日を含む過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。**

あなたのCPDの実績については、本会に上記のとおり登録されていることを証明します。

*****年**月**日

公益社団法人日本技術士会 会長 〇〇 〇〇

建築士会継続能力開発(CPD) 実績証明書



氏名 宇都宮 一

所属(登録)建築士会 一般

CPD登録番号 09000

建築士会継続能力開発
以下の単位を取得したこと

能力開発期間 0000年04月01日より0000年03月31日

取得単位数 15 単位

能力開発期間は次のとおりです。

【施工能力評価方式】

公告に記載の評価項目算定資料提出日を含む過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。

【実績評価方式】

開札日を含む過去1年間に取得していることを証明できるものに限ります。

令和 00年 00月 00日

一般社団法人 栃木県建築士会

会長 ○ ○ ○ ○

「ISO9001」・「ISO14001」登録証見本

〇〇建設株式会社

栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

登録証

登録番号：

ISO 9001:2008 ・ JIS Q 9001:2008

建築物の施工

当機関は、上記組織
要求事項に適

登録日 : 0000年4月1日
更新日 :
発行日 : 0000年4月1日
有効期限 : 0000年3月31日

【施工能力評価方式】

公告に記載の評価項目算定資料提出日現在
有効でなければなりません。

【実績評価方式】

開札日現在有効でなければなりません。

同一年度内 2 回目以降の参加時には
提出を省略できます。

〇〇建設株式会社

栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

登録証

登録番号：

ISO 14001:2004 ・ JIS Q 14001:2004

建築物の施工

当機関は、上記組織が、当該マネジメントシステム
要求事項に適合していることを証します。

登録日 : 0000年4月1日
更新日 :
発行日 : 0000年4月1日
有効期限 : 0000年3月31日

事業所版環境ISO

[ECO うつのみや21]

認定証

事業所名 ○○建設 株式会社

代表者名 宇都宮

所在地 宇都宮市

上記事業所は、事業所版環境
ことを認定します。

【施工能力評価方式】

公告に記載の評価項目算定資料提出日現在
有効でなければなりません。

【実績評価方式】

開札日現在有効でなければなりません。

同一年度内2回目以降の参加時には
提出を省略できます。

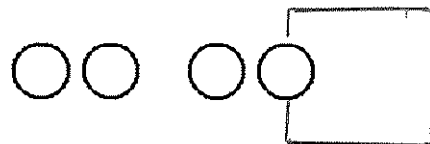
認証登録日

令和00年 4月 1日

有効期限

令和 00年 3月31日

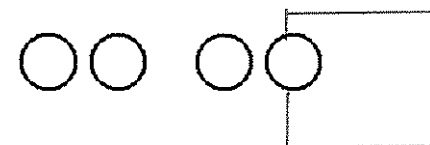
宇都宮商工会議所会頭



事業所版環境ISO認定

委員会

委員長



建設業労働災害防止協会加入証明書例

建設業労働災害防止協会加入証明書

所在地 宇都宮市旭1丁目1番5号

事業場名称 ○○建設(株)

代表者氏名 宇都宮 太郎

電話番号 028-000-0000

会員番号 第 000 号

加入年月日 昭和 00 年 00 月 00 日

証 建災防栃 第 宇 00 号

上記の者が、建設業労働災害防止協会栃木県支部

令和 00 年 00 月 00 日

【施工能力評価方式】

公告に記載の評価項目算定資料提出日を含む過去1年以内に発行したものが有効です。

【実績評価方式】

開札日を含む過去1年以内に発行したものが有効です。

同一年度内2回目以降の参加時には提出を省略できます。

建設業労働災害防止協会栃木県支部

支部長 ○ ○ ○ ○

